

身体によいセサミンが豊富で、
収量性の高いゴマ

「ごま王」

農林水産省品種
登録出願中
出願名:「ごままじろ」

タキイ種苗(株) 築地原 健一

ゴマの研究は食品科学や生化学的な面から近年急激に進展し、健康機能性の高い食品の一つとして消費者に認識されるようになっていきます。現在、国内で約15万tのゴマが消費されていますが、そのほとんどが価格の安い海外産です。国産は比較的高価格で取引され、根強い消費ニーズも存在しています。

そこで今回、ゴマの健康機能性をさらにアピールでき、高い付加価値によって地域の特産物となりえる新規作物として「ごま王」を新発売することになりました。

品種特性

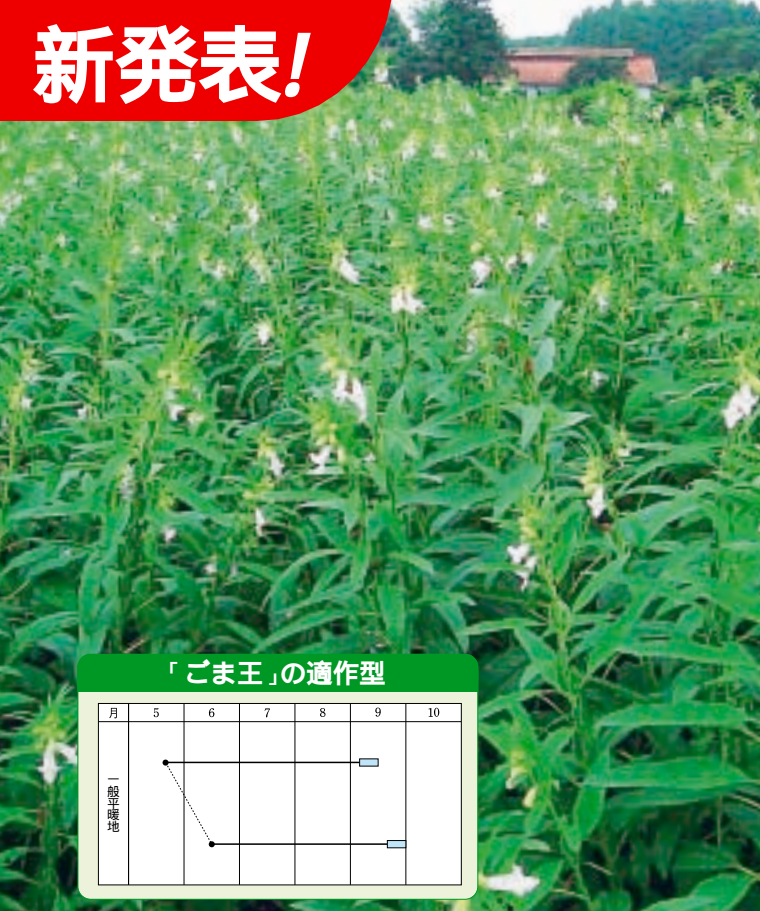
ゴマリグナン含量が高い 種実の色は褐色〜淡灰色で、体内の酸化防止や発がん予防、血圧降下などに効果があるとされるセサミンなどゴマリグナン含量が高い品種です。

熟期は中晩生で、草丈は1〜1.5mになります。また、分枝数が在来種より多く、高い収量が見込めます。「ごま王」は土壌適応性が広いので栽培が容易です。

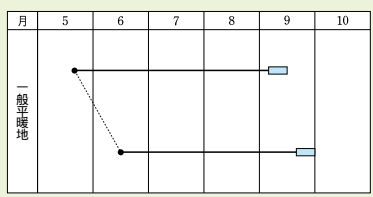
栽培のポイント

発芽には20℃以上が必要 連作を避け、排水・日当たりのよい圃場を選んでください。チッソ成分が多いと倒伏することがあるので、極端な多肥栽培は避けず。発芽適温は気温20℃以上なので、早まきは行わないようにしてください。一般地では、5月下旬〜6月中旬が播種適期となります。「ごま王」は分枝数が多いため、株間は広め(30cm程度)にします。点まきまたはスジまきとし、幼苗期に2〜3回間引きを行い、1本立ちにします。間引き後に、倒伏防止を兼ねて中耕・土寄せを行います。

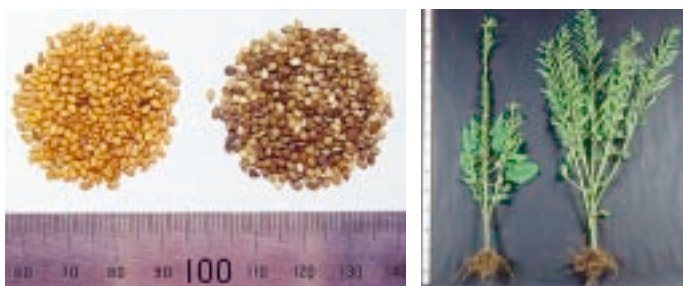
収穫は下葉が黄変し、下部のさつ果が裂開し始めたころに根元から刈り取り、各節の葉、上部の花を除去し、乾燥後に種実をとりまします。



「ごま王」の適作型



ゴマ種子に含まれるゴマリグナンは、抗酸化性や血圧降下作用などの機能が注目されている。



種子(左:「真瀬金」、右:「ごま王」)、草姿(左:「真瀬金」、右:「ごま王」)

形態的特性

品種名	草丈	分枝数	葉形	最下着さく位置	葉えき当花数	花冠の色	種皮色	粒の大小
ごま王	中	多	3裂葉	中	1	ピンク	褐	中
真瀬金(標準)	中	ごく少	全緑	低	3	ピンク	黄褐	中

生態的特性

品種名	開花期	成熟期	耐倒伏性	脱粒性	脱葉性	モザイク病抵抗性	萎凋病抵抗性
ごま王	中	やや晩	中	中	やや難	強	中
真瀬金(標準)	中	中	やや弱	やや易	易	強	強

種子品質特性

品種名	セサミン含有量	セサモリン含有量	着色の均一性
ごま王	高	高	不良
真瀬金(標準)	低	低	良

具体的データ 育成系統の生育・形態特性(平成13年谷和原圃場)

供試系統	開花期(月日)	成熟期(月日)	粒色	セサミン含有量(mg/g)	セサモリン含有量(mg/g)
ごま王	7.18	9.16	褐	8.2(210)	4.0(143)
標)真瀬金	7.13	8.27	黄褐	3.9(100)	2.8(100)

5月29日播種、マルチ栽培。

(写真・表は、農業・生物系特定産業技術研究機構 作物研究所より提供)